

江戸時代の古地図から読み解く ロシアの南下政策の発想と世界認識

横浜市立大学学術情報センターは、11月25日（土）に『「鎖国」時代に写された異国の世界』と題した市民講座を開催します。

この講座では、文化4年（1807年）、漂流民の大黒屋光太夫らが、ロシアから持ち帰ったとされる「莫斯科亜・魯齊亜地理図（モスクワ・ロシアチリズ）」を題材とした特別講演を行います。「莫斯科亜・魯齊亜地理図」は、本学が所蔵する貴重な古地図で、ロシアを下に日本を上を描く「逆さ地図」です。ロシアの南下政策の発想と世界認識が表わされており、地図や地理の形成にみられる当時の人々が抱く憧憬や実情を、地政学・歴史的視点から読み解いていきます。

当日は、特別講演のほか在学生による研究発表や貴重資料の紹介、資料見学会なども企画しています。

「鎖国」時代に写された異国の世界 市民講座 概要

日 時 2017年11月25日（土）13:30～16:00（13:00開場）

会 場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス
（横浜市金沢区瀬戸 22-2）

講 師 松本 郁代
（横浜市立大学学術院国際総合科学群 准教授）

主 催 横浜市立大学学術情報センター

内 容

- ・特別講演「古地図にみるロシア南下の発想～大黒屋光太夫と逆さ世界図の将来～」(40分)
- ・学生研究発表（日本文化ゼミ学生）(30分)
- ・貴重資料の紹介（25分）
- ・見学（希望者のみ、30分）



莫斯科亜・魯齊亜地理図（モスクワ・ロシアチリズ）
ロシアを下に日本を上を描く「逆さ地図」。

横浜市立大学 学術情報センターWeb サイト

<https://opac.yokohama-cu.ac.jp/drupal/>

<横浜市立大学所蔵の古地図データベース>

本学が所蔵する約200年前（江戸時代～明治時代）の古地図コレクションをデータベース化し、Webサイトに公開しています。データベースは、地理学者・故鮎澤信太郎が収集した貴重なコレクションで、江戸期地理学の基礎資料となる日本でも有数の古地図コレクションとして評価されています。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~yuc-rare/>

※当日取材が可能です。ご希望の方は事前に以下までご連絡ください。

「鎖国」

時代に写された

異国の世界



【講師：松本郁代准教授】

特別
講演

古地図にみるロシア南下の発想
～大黒屋光太夫と逆さ世界図の将来～

講座
内容

- ◆貴重資料の紹介 ◆ 学生発表
- ◆ 資料見学会

11月25日(土) 13:30～16:00
(13:00開場)

先着**80**名 受講料**無料**

申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれかにて、
①氏名②電話番号③メールアドレス(任意)をご連絡ください。
【受付期間10月30日(月)～11月24日(金)】

横浜市立大学学術情報センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

TEL 045-787-2073・2076

FAX 045-787-2079

MAIL shimin07@yokohama-cu.ac.jp

